

手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年12月4日(火)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

郡山支援学校との交流深まる!

本校での授業交流会 11/22(木)
支援学校での交流会 11/27(火)

11月22日(木)には、第2回郡山支援学校との授業交流会が行われました。郡山支援学校の2名の生徒が来校し、2年6組と3年6組に入り、2校時から4校時までの授業を本校生徒とともに受けました。授業では、本校の教員の話の聞いたり、作業やペア学習に取り組んだりしていました。その後、弁当も一緒に食べるなど、それぞれのクラスの生徒や福祉委員会の生徒との交流を深めることができました。11月27日(火)には、第2回郡山支援学校との交流会が行われました。全学級の福祉委員会の生徒、えのき・けやき学級の生徒、さらには吹奏楽部、合唱部の総勢約120名の生徒が、郡山支援学校を訪問しました。体育館で行われた全体会では、えのき・けやき学級のハンドベル演奏、合唱部と吹奏楽部の演奏が披露されました。郡山支援学校の生徒達や先生方から大きな拍手を受けるなど、大いに楽しんでくれた様子でした。全体会の後は、福祉委員会の生徒達が各活動教室へ移動し、ゲームなどの交流活動を行いました。



授業交流会【11/22】



郡山支援学校での交流会【11/27】

本校生徒が支援学校を訪問する交流会(2回)と、支援学校の生徒が本校で授業を受ける授業交流会(2回)、今年度も支援学校との交流を深めることができました。参加した生徒達には、お互いを理解すること、主体的に他者に関わろうとすることの大切さを実感できたと思います。支援学校と交流は、本校の大切な伝統ある活動です。来年度も充実した活動を期待しています。福祉委員会委員長大橋さんの思いです。

第2回郡山支援学校との交流会では、福祉委員会の生徒一人一人が自分達でゲームを考え、工夫し、一生懸命準備しました。支援学校の皆さんには、ゲーム、合唱など楽しんで頂けたので、とてもうれしかったです。1回、2回と交流を続けていくうちに、支援学校の皆さんとのたどたどしい仲も良くなり、心の距離も縮まってきました。帰り際には、いつも「ありがとうございました」と笑顔で手をふってくれます。私達は、そんな「笑顔」をこれからも大事にしていきたいです。そして、誰よりも人を思いやる心をもち、福祉委員会を更に活発な委員会にしていきたいです。

福祉委員会委員長 大橋七海(2-6)

◆ 「笑顔」を大事に…!ととてもすばらしい考え方ですね。富中の伝統をしっかり継承してってください。

文部科学省教科調査官をお招きしての授業公開

11月26日(月)には、市教育委員会主催の教科教育等研修「社会科教育講座」が本校で実施されました。文部科学省教科調査官の藤野敦先生をお迎えし、本校の大竹先生が1年8組の社会科地理的分野の授業「世界の諸地域 アフリカ州」を提供しました。市内小中学校から約80名の社会科の先生方が来校し、授業を参観し、その後藤野先生の講義を受けました。「特定の農産物や鉱産資源に頼るアフリカの経済にはどんな問題があるのか考えよう」…1年8組の生徒達は、大勢の先生方に囲まれ緊張した面持ちでしたが、学習課題の解決に向けて真剣に考え、話し合うなど、学習活動に取り組んでいました。



生徒会の新たな取組 地域ふれあい活動『富田駅清掃』

11月26日（月）の放課後には、生徒会本部役員と2年生の美化委員（1組～4組）の総勢18名による『地域ふれあい活動～富田駅清掃』が実施されました。地元の新設された郡山富田駅。地域貢献の意味で、この富田駅とのかかわりを生徒会活動に位置付け、何かできないかと考え、まずは駅清掃を始めることになりました。生徒達は、駅の階段、通路、駐輪場等の掃き掃除や落ち葉やゴミ拾い、エレベーター掃除などに一生懸命取り組みました。

待ちに待った新駅をこれからも大切に使うように心をこめて美化活動ができたことはとても有意義でした。参加した生徒のみんな、肌寒い中での作業、ご苦労様でした！駅の利用者から温かい声をかけられたりしました。地域の施設への花のプランター配付や公民館の清掃などの本校の伝統ある『地域ふれあい活動』に新たな1ページを刻むことになりました。富田駅清掃は今後も定期的に続けていくこととなります。それ以外にも、駅とつながる活動を検討中です。美化委員会委員長大浜さんの感想です。

私達は、11月26日に地域ふれあい活動として富田駅を清掃しました。私達の町の新しい駅を少しでもきれいにするために、一生懸命この活動に取り組みました。駅の清掃活動をしている中で、いろいろなゴミを見つけました。煙草の吸い殻やお菓子のゴミ、ペットボトルなど、富田駅は新しく一見きれいに見えても、いろいろなゴミが落ちていて驚きました。私はエレベーターの床や壁を清掃しました。エレベーターの床にはコーヒーをこぼした後があり、壁やスイッチ付近にはたくさんの手垢がありました。どちらも力強く雑巾でこすらないと汚れが落ちないので、とても大変でした。みんな一生懸命に清掃をしていて、終わった時には笑顔でした。清掃活動は行った人も、駅を利用する人もどちらも笑顔になるということが分かりました。そして、終わるときには、「また清掃したい！」という気持ちになりました。今後も清掃活動で学んだことを生かして、日々の生活に取り組みたいです。

美化委員会委員長 大浜珠結(2-2)

◆ みんなの笑顔素敵です！「また清掃がしたい」という思いもさすが美化委員会委員長ですね。



新入生体験入学

11月22日（木）には、来年度本校に入学する富田小・富田東小の6年生が来校しました。学校の概要説明などのオリエンテーションの後、生徒会本部役員の案内で、5校時の授業参観や中学校の施設等の見学を行いました。その後、生徒会本部役員による「中学校生活スライドショー」が行われ、6年生の児童に対して、中学校の学習、生活、生徒会活動、部活動などについて、役員が生徒達が詳しく丁寧に説明をしました。6年生の児童達も真剣に話に聞き入っていました。4ヶ月半の小学校生活を充実させて締めくくり、来年4月に希望を持って本校に入学してくれることを期待しています。



ました。うがい・手洗いの実施はもちろん、マスクの着用（隙間無く密着した装着）、教室の定期的な換気など、インフルエンザ予防に向けた対策を万全にしていきたいと思います。自分の健康管理は、自分の責任のもと行われるべきものです。学校だけでなく、家庭や塾等での対応も忘れずに！

お詫びと訂正

『学校だよりNo.32』において、ふくしま駅伝に出場した伊東舞莉彩さんの姓を「伊藤」と誤って掲載してしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

インフルエンザの 予防対策を万全に！

インフルエンザ流行の季節となりました。過日、生徒集会において保健委員会の生徒達からの注意喚起の発表がありました。保健室前の掲示板にも柳沼先生制作の「換気の大切さ」を知ることができる掲示物が貼り出され

